

令和2年度 第4回半田市地域公共交通会議事録

開催日時	令和3年3月29日（月）	14時20分～16時20分
開催場所	半田市役所 大会議室（4階）	
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ（会長）</p> <p>3. 協議事項</p> <p>（1）地区路線B（成岩東部地区及び瑞穂地区）の運行計画について</p> <p>4. 報告事項</p> <p>（1）地域公共交通確保維持改善に関する事業評価の中部運輸局の評価結果について</p> <p>（2）令和2年度地域間幹線系統確保維持計画に係る事業評価について</p> <p>5. その他</p>	
出席委員 【欠席委員】	<p>（会長）</p> <p>半田市副市長</p> <p>（委員）</p> <p>知多乗合株式会社代表取締役社長</p> <p>安全タクシー株式会社代表取締役社長</p> <p>愛知県タクシー協会知多支部長</p> <p>公益社団法人愛知県バス協会専務理事</p> <p>国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官（代理）</p> <p>【名鉄知多タクシー労働組合執行委員長】</p> <p>愛知県知多建設事務所維持管理課長（代理）</p> <p>愛知県半田警察署交通課長（代理）</p> <p>亀崎地区代表区長</p>	

	乙川地区代表区長 半田地区代表区長 成岩地区代表区長 半田商工会議所専務理事 社会福祉法人半田市社会福祉協議会事務局長 半田市老人クラブ連合会会長 特定非営利活動法人半田市観光協会事務局長 市民公募委員 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授（座長） 半田市総務部長 半田市建設部長 半田市市民経済部長 半田市福祉部長 半田市議会議員 名古屋鉄道株式会社中部支配人 愛知県都市整備局交通対策課担当課長（代理）
事務局	防災監 柘植信彦 防災交通課 主査 間瀬勝信 主事 浅井隆之 事務員 中村公星
傍聴者	0名

次 第	議事概要
2. あいさつ	(会長あいさつ)
3. 協議事項 (1) 地区	(事務局) 資料1に基づき説明。

<p>路線B（成 岩東部地区 及び瑞穂地 区）の運行 計画につい て</p>	<p>（座長） 何かご意見、ご質疑があればお願いしたい。</p> <p>（半田市議会議員） 半田病院に経由するルートになっているが、病院へは敷地内 まで乗り入れる予定となっているか。</p> <p>（事務局） 両地区とも乗り入れる予定。</p> <p>（半田市議会議員） 予約運行についてももう少し詳しく教えてほしい。路線図で黄 色で塗られているエリアの人が電話予約すると使えるというこ となのか、車イスの方であれば誰でも使えるということなの か。</p> <p>（事務局） 予約運行はバス停からバス停への運行となるので、バス停ま でお越しいただく必要はあるが、この地区の住民でなくとも、 車イスの方であればどなたでもお使いいただける。</p> <p>路線図の黄色エリアの意味合いは、予約を受けた車両（ジャ パンタクシー）が走行し得る範囲を示したもの。路線バスと同 じ経路を運行するのではなく、指定されたバス停間を最短で運 行するため、このように運行範囲を図示している。</p> <p>（座長） これは会議用の資料として表現していると思うが、一般の方 には必要のない情報だと思うので、利用者用の路線図などには 載せないように注意すること。</p> <p>（半田市議会議員） 回数券の話があったが、地区路線Bでは共通で使えるとのこ とだが、地区路線A、すなわち知多バスの回数券は現時点では</p>
--	---

地区路線Bでは使えない。知多バスの回数券も路線Bで使えるとさらに便利になると思うが、いかがか。

(事務局)

事務局としても課題として捉えている。ただ、双方の回数券は割引率が異なっていたり、日々の精算行為の労力は事業者にとって相応の負担となるので、市の一存では決められないところがある。関係する運行事業者と協議しながら共通利用の方策を検討する。

(座長)

良い指摘と思う。MAASなどシステム云々と難しく捉えずに工夫してやってほしい。地域によってやり方は異なるが、すでに実施しているところがあるので、前向きに進めてほしい。

(愛知県タクシー協会知多支部長)

乗りこぼしが発生した場合の対応について伺いたい。

(事務局)

受託運行事業者に別の車両を手配いただき、実績払いの形で対応としたいと考えている。

(座長)

乗りこぼしの対応は、事業者も急に言われても困るので、あらかじめ双方で対応をきちんと協議しておくこと。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官(代理))

運行ルートには、道路以外の民地や公有地も含まれているので、それらの敷地内の経路については、次回の会議、あるいは書面協議の際に拡大図を追加で添付すること。また、ダイヤについて、地元バス会の要望もあり、最終的にパターンダイヤを

採用としたとのことだが、鉄道や他のバスへの乗り継ぎ可能箇所が多い地域でもあるので、資料には参考としてそれら他の交通機関のダイヤ情報も掲載しておいてほしい。

(事務局)

承知した。

(座長)

パターンダイヤと乗継重視のダイヤはトレードオフの関係にある。地元の要望というよりも、地元考案の計画としてパターンダイヤの予定としているので、まずはそれを運行いただければよい。運行を進めていく中で、やはり乗継重視にした方がよいといった意見も出てくる可能性があるので、その際はまた地域で協議して改善につなげていただけると良い。

(座長)

両地区とも地元との協議を重ねて考えており良いと思うが、バス路線の名前を考えたりはしないのか。

(事務局)

路線名は混乱を避けるため地域名称を付けることとさせてもらっているが、〇〇バスといった愛称は地元で協議していただく予定。

(社会福祉法人半田市社会福祉協議会事務局長)

運行日に土日祝がないが、そういった要望はなかったのか。瑞穂線では、「ふれあいプール」が経路に含まれており、子どもが行くなら土日ではないかと思ったところなので、お聞かせ願いたい。

(事務局)

地元バス会で協議をする際に、土日祝に制限をかけるといっ

たことはしていない。ただし、予算には限りがあり、運行日数や便数を際限なく増やすということはできない。そのため、平日運行以外の例として、土日祝も含める代わりに便数を減らしたり、平日の特定曜日を運行しないといった調整をすることで、土日祝の運行も可能であることはバス会と共有させていただいている。平日のどこかをやめて土曜を入れようといった意見もあったが、最終的には分かりやすさを理由に平日・1日8便運行という形式となった。今後運行が始まり実績が蓄積されるなかで、利用の少ない曜日の運行をやめて土曜に振り替えるといった変更は改善になるため、妨げるものではない。

(座長)

非常に重要な質問かと思う。どの地域でも交わされる議論だが、最終的には予算制約で決めているところがある。事務局の説明したとおりだとは思いますが、利用が非常に盛んになった場合には、予算上限を少しでも引き上げるといった検討も進めていってほしいと思う。

(事務局)

利用の高まりに合わせてサービス水準を引き上げることは、やっていくべきと考えている。

(半田地区代表区長)

予約運行について、瑞穂線のようにルートが2つある路線の場合、ルート間のバス停移動も可能か。

(事務局)

可能。瑞穂線の場合は、便（時間）によってルートを分けているが、予約運行は運行時間内であればダイヤに関係なく運行させていただくので、ルートが異なるバス停間であっても運行する。

	<p>(座長)</p> <p>それでは、質疑がないようなので、お諮りする。本協議に賛同いただける方は拍手をお願いしたい。</p> <p>(一同拍手)</p>
<p>4. 報告事項</p> <p>(1) 地域公共交通確保維持改善に関する事業評価の中部運輸局の評価結果について</p> <p>(2) 令和2年度地域間幹線系統確保維持計画に係る事業評価について</p>	<p>(事務局)</p> <p>資料2、3に基づき、報告事項を説明。</p> <p>(座長)</p> <p>運輸支局にお尋ねしたい。補助要件に輸送量15人という条件があるが、現在はコロナ禍の影響で移動需要が減少しており、通常の補助制度のままでは支障があると思う。資料3の「地域間幹線系統確保維持計画への事業評価」に、評価意見として、15人割れとなっている系統等に改善を求める旨の記載があるが、利用客が減少した理由がコロナ禍に伴う外出自粛である以上、事業者が改善したところで元に戻るような状況ではないと思う。今回のような場合は、暫定的でも補助の枠組みを変えるなど、しっかりと対応していただきたい。運輸支局や国でどのような検討がなされているのか、お聞かせ願いたい。</p> <p>(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官(代理))</p> <p>ご指摘のとおり見直しは必要だと感じている。改善や分析と並行して制度的な部分の検討は進めなければならない。</p> <p>(座長)</p> <p>今は非常に重要な局面にある。補助を拡大してでも路線を守っていかないと、コロナ収束後に路線がないという状況も十分あり得る。国の三次補正の内容も、バスロケの整備など新規事業は補助の対象となっていて、これはこれで良い内容だと思</p>

	<p>うが、現状でバス事業者が新しい取組に着手できる状況なのか、そういったことも勘案して、積極的に検討を進めていただきたい。</p>
<p>5. その他 (情報交換等)</p>	<p>(座長)</p> <p>せっかくの機会であるため、お伝えしたい情報等があればご発言をお願いしたい。</p> <p>(半田市議会議員)</p> <p>前回の公共交通会議において、半田病院の近くにバス停を設置してほしいとの要望が出されていたが、現状の進捗を教えてください。</p> <p>(事務局)</p> <p>バス停の場所を変える方策は、いくつかのアプローチがある。その一つとして、現状の北部線のコースをアイプラ半田および半田市職員駐車場を通るコースに変更するというアイデアがあり、検討を進めた。職員駐車場の前面道路には中央分離帯(ガードレール)があるが、これを撤去し、右折できるようにするというもの。ただ、これに関しては安全性の面で不安もあることから半田警察署に相談したところ、危険を伴い支障ありとのご意見を頂戴したため、本案を進めることは断念した。他の方策として、公道を通るルート変更について運行主体である知多乗合(株)に相談しているが、遠回りとなるため、減便は免れないとの意見をいただいております、どの程度減便することになるのか、シミュレーションをしていただいております。</p> <p>(半田市議会議員)</p> <p>色々課題があり難しいということは理解している。一方で、前回の会議のように団体要望として出てきていたり、市民</p>

の皆さんからお伺いする声として、バス停を病院の近くにするべきという意見は多数いただいている。そのため、本日の協議にもあった新規の路線経路に関して、病院への乗り入れをするか否か確認させてもらった。新病院の移転まではまだ年数があり、要望を出された皆さんに対してそれまで待っていてくれというのは心苦しい。そのため、できることから少しずつ改善することも必要だと思うし、どうやったらできるのかという議論も必要だと思う。警察としてもできることとできないことはあると思うが、見解をお伺いしたい。

(愛知県半田警察署交通課長 (代理))

今回の案でいうと、職員駐車場から右折ということだが、前面の道路は多車線道路（両方向で4車線以上）であり、道路を作る際には中央分離帯を設けていただくこととなっている。これをあえて開けるということは、歩行者の乱横断（横断歩道がないところで道路を渡ることも招き、危険性が高まるため、実現は難しいと考えている。そのため、他の案としては、左折で進行できるようなルートの変更を検討していただくのが良いと考える。

(半田市議会議員)

様々な方法があると思うが、この件は以前から出ている話で、未だに解決しない状況になっている。せっかく公共交通会議という会議体があるなかで、地域の課題を放置しておくのもどうかと思う。ここには、交通事業者も警察も市も一堂に会しており、ここであれば解決の道筋がつけられるのではないかと思い意見しているもので、市民の声を拾って実現していくことで地域公共交通の拡充にも繋がると考えている。本件を終わった話とするのではなく、現在進行形の課題として、継続的に検討と協議を進めていきたい。

(座長)

非常に重要な議論だと思う。特に病院というのは公共交通において重要な拠点であり、病院の利用者だけでなく、乗継で使う人にとっても価値がある。現在もアイデアを出して検証するという事はやっけていたでいており、今回は1つのアイデアができなくなったということだと思ふ。歩行者事故も非常に問題になっており、バスを改善しても交通安全が脅かされるということでは進めるのは難しい。1つのアイデアで留まることなく、既存の枠組みを超えた発想も取り入れてどんどんアイデアを出していくことが大事で、やれる方向で考えていくことが必要。

(安全タクシー株式会社代表取締役社長)

4月1日から地区路線B岩滑小線の運行を、安全タクシーが担当させていただくことになった。安全・安心を第一に運行していくので、よろしくお願ひします。

(座長)

恐らく運転手の方が肌で感じることは色々あると思ふので、そのあたりも今後共有していければと思ふ。

～終了～